

東京書籍「精選言語文化」(言文 002-902)

■ 「羅生門」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②小説の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別的小説を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③段落分け 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して段落分けを行い、その根拠を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して段落分けをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して段落分けをしていない。
	④内容把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 第一段を読み、下人が抱いている悩みについて理解し、段落の要旨を説明している。 第二段を読み、下人の心理がどのように変化したかについて理解し、段落の要旨を説明している。 第三段を読み、老婆の話を受けて下人の心理や行動の変化について読み取り、段落の要旨を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段を読み、下人が抱いている悩みについて理解している。 第二段を読み、下人の心理がどのように変化したかについて理解している。 第三段を読み、老婆の話を受けて下人の心理や行動の変化について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段を読み、下人が抱いている悩みについて理解していない。 第二段を読み、下人の心理がどのように変化したかについて理解していない。 第三段を読み、老婆の話を受けて下人の心理や行動の変化について読み取っていない。
	⑤考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> 老婆の主張や下人が行きついた考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 老婆の主張や下人が行きついた考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 老婆の主張や下人が行きついた考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
	⑥表現の特徴の理解 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 羅生門の情景描写や比喩表現、語り手の役割などを的確に把握し、その効果を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅生門の情景描写や比喩表現、語り手の役割などを的確に把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅生門の情景描写や比喩表現、語り手の役割などを把握していない。

学習に主体的に取り組む態度	⑦考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> 老婆と下人の発言について考察し、登場人物の心情の変化や小説の主題について自分の考えを伝えるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 老婆と下人の発言について考察し、登場人物の心情の変化や小説の主題について自分の考えを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 老婆と下人の発言について考察し、登場人物の心情の変化や小説の主題について自分の考えを伝えようとしていない。
---------------	--------	--	--	---

■「言語活動 翻案作品を原作と読み比べる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①翻案に関する知識 〔1〕ア	・翻案作品は原案を「利用」「変更」「省略」などをしながら別の作品に作り替えられていることを理解し、他者に説明している。	・翻案作品は原案を「利用」「変更」「省略」などをしながら別の作品に作り替えられていることを理解している。	・翻案作品は原案を「利用」「変更」「省略」などをしながら別の作品に作り替えられていることを理解していない。
思考・判断・表現	②翻案作品と原作の比較 〔1〕エ	・「羅生門」と原作を比較し、原作の「利用」「変更」「省略」に当たる箇所を指摘し、根拠とともに説明している。	・「羅生門」と原作を比較し、原作の「利用」「変更」「省略」に当たる箇所を指摘している。	・「羅生門」と原作を比較し、原作の「利用」「変更」「省略」に当たる箇所を指摘していない。
	③翻案作品の創造性 〔1〕エオ	・翻案作品の「羅生門」と原作の「今昔物語集 羅城門の上層に登りて死人を見たる盗人のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめ、他者に説明している。 ・翻案作品の「羅生門」と原作の「帶刀帯の陣に魚を売る嫗のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめ、他者に説明している。	・翻案作品の「羅生門」と原作の「今昔物語集 羅城門の上層に登りて死人を見たる盗人のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめている。 ・翻案作品の「羅生門」と原作の「帶刀帯の陣に魚を売る嫗のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめている。	・翻案作品の「羅生門」と原作の「今昔物語集 羽城門の上層に登りて死人を見たる盗人のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめていない。 ・翻案作品の「羅生門」と原作の「帶刀帯の陣に魚を売る嫗のこと」を比較し、その変更点が翻案作品の創作性にとってどのような意味を持つのか自分の考えをまとめていない。
学習に取り組む態度	④近代小説における翻案作品の調査・レポート	・「羅生門」以外の古典文学の翻案作品を調べて原作と比較し、翻案作品の創作性についてレポートにまとめようとしている。	・「羅生門」以外の古典文学の翻案作品を調べてレポートにまとめようとしている。	・「羅生門」以外の古典文学の翻案作品を調べてレポートにまとめようとしていない。

■ 「城の崎にて」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②小説の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死と、それぞれの死について「自分」がどのような感想を持ったかを読み取り、その内容を説明している。 「自分」が電車事故をどのように振り返っているかを読み取り、その内容を説明している。 生と死について「両極ではなかった」と捉える筆者の独自な死生観と、そのような死生観に至った理由を読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死と、それぞれの死について「自分」がどのような感想を持ったかを読み取っている。 「自分」が電車事故をどのように振り返っているかを読み取っている。 生と死について「両極ではなかった」と捉える筆者の独自な死生観と、そのような死生観に至った理由を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死と、それぞれの死について「自分」がどのような感想を持ったかを読み取っていない。 「自分」が電車事故をどのように振り返っているかを読み取っていない。 生と死について「両極ではなかった」と捉える筆者の独自な死生観と、そのような死生観に至った理由を読み取っていない。
学習主体的に組む態度	④考察・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死に出会ったことで主人公が到達した死生観について考察し、自分の考えを伝えるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死に出会ったことで主人公が到達した死生観について考察し、自分の考えを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死に出会ったことで主人公が到達した死生観について考察し、自分の考えを伝えようとしていない。

■「鏡」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②小説の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③文章の構成 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や語りの工夫について理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や語りの工夫について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や語りの工夫について理解していない。
	④内容把握 読 (1) イ	<ul style="list-style-type: none"> 第一段～第二段を読み、「僕」という人物の設定や、性格、考え方を読み取り、その内容を説明している。 第三段を読み、この時の「僕」の心理状態を読み取り、その内容を説明している。 「僕」と「奴」との関係を、ストーリーの展開に即して考えてまとめ、それについて根拠をもって説明している。 第五段を読み、「僕」の体験が自己の内面を脅かす体験だったことを読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段～第二段を読み、「僕」という人物の設定や、性格、考え方を読み取っている。 第三段を読み、この時の「僕」の心理状態を読み取っている。 「僕」と「奴」との関係を、ストーリーの展開に即して考え、まとめている。 第五段を読み、「僕」の体験が自己の内面を脅かす体験だったことを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段～第二段を読み、「僕」という人物の設定や、性格、考え方を読み取っていない。 第三段を読み、この時の「僕」の心理状態を読み取っていない。 「僕」と「奴」との関係を、ストーリーの展開に即して考え、まとめていない。 第五段を読み、「僕」の体験が自己の内面を脅かす体験だったことを読み取っていない。
組む態度 学習に取り組む態度 主体的に	⑤レポート・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について自分の考えを文章にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について自分の考えを文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について自分の考えを文章にまとめようとしていない。

		とともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。		
--	--	----------------------------------	--	--

■「言語活動 改稿による違いを読み比べる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①改稿に関する知識 （1）ア	・改稿の意味と、出版後などに原稿の内容が変更されることがあることを理解し、他者に説明している。	・改稿の意味と、出版後などに原稿の内容が変更されることがあることを理解している。	・改稿の意味と、出版後などに原稿の内容が変更されることがあることを理解していない。
	②小説の読み方の基本 （1）エ	・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別的小説を読む際にも活用している。	・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。	・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③改稿による効果の把握 読（1）エ	・資料と教科書を比較し、どのような改稿が行われているかを確認し、その変更による効果について考えをまとめ、他者に説明している。	・資料と教科書を比較し、どのような改稿が行われているかを確認し、その変更による効果について考えをまとめている。	・資料と教科書を比較し、どのような改稿が行われているかを確認し、その変更による効果について考えをまとめていない。
	④考え方の形成 読（1）オ	・改稿を行った作者の思いについて自分の考えをまとめ、根拠をもって説明している。	・改稿を行った作者の思いについて自分の考えをまとめている。	・改稿を行った作者の思いについて自分の考えをまとめていない。
学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	・改稿による効果について考察し、改稿を行った作者の意図や思いについて自分の考えを伝えるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・改稿による効果について考察し、改稿を行った作者の意図や思いについて自分の考えを伝えようとしている。	・改稿による効果について考察し、改稿を行った作者の意図や思いについて自分の考えを伝えようとしていない。

■「天井裏の時計」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②小説の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 第一の場面から読み取れる小山家の状況を捉えて、その内容を説明している。 手紙に書かれた時計にまつわる顛末を時間を持って確認し、そのときどきの登場人物の気持ちを読み取り、その内容を説明している。 最後の場面の「彼らの中で、半年以上も……確かに見失っていたのだった。」に込められた意味を読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一の場面から読み取れる小山家の状況を捉えている。 手紙に書かれた時計にまつわる顛末を時間を持って確認し、そのときどきの登場人物の気持ちを読み取っている。 最後の場面の「彼らの中で、半年以上も……確かに見失っていたのだった。」に込められた意味を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一の場面から読み取れる小山家の状況を捉えていない。 手紙に書かれた時計にまつわる顛末を時間を持って確認し、そのときどきの登場人物の気持ちを読み取っていない。 最後の場面の「彼らの中で、半年以上も……確かに見失っていたのだった。」に込められた意味を読み取っていない。
	④考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> 小説の内容について豊かに想像することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の内容について豊かに想像することを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の内容について豊かに想像せず、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤考察・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 小説内の人間関係の在り方や登場人物の心情の変化について考察し、自分の考えを伝えるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説内の人間関係の在り方や登場人物の心情の変化について考察し、自分の考えを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説内の人間関係の在り方や登場人物の心情の変化について考察し、自分の考えを伝えようとしていない。

■「人生初季語」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 ・本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 ・本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 ・本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②隨筆の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> ・隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解し、別の隨筆を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・「A」と「B」の句を比較し、季語によってどのようなイメージが作られるかを捉え、その内容を説明している。 ・「風」に関わる季語について調べ、季語について理解を深めるとともに、その内容を説明している。 ・「消えてゆく二歳の記憶風光る」の句について、内容と詠まれた心情を理解し、その内容を説明している ・筆者の季語に対するものの見方、感じ方、考え方を捉え、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「A」と「B」の句を比較し、季語によってどのようなイメージが作られるかを捉えている。 ・「風」に関わる季語について調べ、季語について理解を深めている。 ・「消えてゆく二歳の記憶風光る」の句について、内容と詠まれた心情を理解している。 ・筆者の季語に対するものの見方、感じ方、考え方を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「A」と「B」の句を比較し、季語によってどのようなイメージが作られるかを捉えていない。 ・「風」に関わる季語について調べ、季語について理解を深めていない。 ・「消えてゆく二歳の記憶風光る」の句について、内容と詠まれた心情を理解していない。 ・筆者の季語に対するものの見方、感じ方、考え方を捉えていない。
学習に主体的に組む態度	④考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や季語に対する筆者の考え方を捉え、それを踏まえて俳句や季語について自分が感じたことを伝え、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や季語に対する筆者の考え方を捉え、それを踏まえて俳句や季語について自分が感じたことを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や季語に対する筆者の考え方を捉え、それを踏まえて俳句や季語について自分が感じたことを伝えようとしていない。

■「耳覚めの季節」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アイウ	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 本文に登場する言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしている。 本文に登場する言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文に登場する漢字を読んだり書いたりしていない。 本文に登場する言葉の意味を理解していない。
	②隨筆の読み方の基本 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解し、別の隨筆を読む際にも活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 隨筆の読み方の基本（取り上げられている物事や、物事に対する筆者の見解などへの着目）を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 寄席で落語を聞く筆者が感じていることを捉え、その内容を説明している。 「へつつい幽霊」を聴いた筆者の未知の言葉との出会いについて読み取り、その内容を説明している。 「耳覚めのときが来た」とはどういうことか考えをまとめ、その内容を説明している。 「どこかでつながっているような気がするのだ。」とはどういうことか考えをまとめ、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄席で落語を聞く筆者が感じていることを捉えている。 「へつつい幽霊」を聴いた筆者の未知の言葉との出会いについて読み取っている。 「耳覚めのときが来た」とはどういうことか考え、まとめている。 「どこかでつながっているような気がするのだ。」とはどういうことか考え、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄席で落語を聞く筆者が感じていることを捉えていない。 「へつつい幽霊」を聴いた筆者の未知の言葉との出会いについて読み取っていない。 「耳覚めのときが来た」とはどういうことか考え、まとめていない。 「どこかでつながっているような気がするのだ。」とはどういうことか考え、まとめていない。
	④考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> 「どこかでつながっているような気がするのだ。」と述べる筆者の思いから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「どこかでつながっているような気がするのだ。」と述べる筆者の思いから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「どこかでつながっているような気がするのだ。」と述べる筆者の思いから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

組む態度 学習に取り組む態度	⑤考察・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験や考えを読み取り、筆者の思いについて考えたことを伝え、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験や考えを読み取り、筆者の思いについて考えたことを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験や考えを読み取り、筆者の思いについて考えたことを伝えようとしていない。
-------------------	----------	---	---	--

■ 「こころの鉢—短歌抄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア 読 (1) ア	・歌集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・歌集や作者について知識を深めている。	・歌集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ 読 (1) ウ	・それぞれの短歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに各歌で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・それぞれの短歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・それぞれの短歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
表現・判断・表現	③内容把握 読 (1) ア	・それぞれの短歌について、情景や心情を読み取り、その内容を説明している。	・それぞれの短歌について、情景や心情を読み取っている。	・それぞれの短歌について、情景や心情を読み取っていない。
	④表現の理解 読 (1) ウ	・短歌の表現技法やその効果について理解し、その内容を説明している。	・短歌の表現技法やその効果について理解している。	・短歌の表現技法やその効果について理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤考察・レポート	・短歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取って感想文を書き、さらに他者の感想文を読んで自分の考えを深めようとしている。	・短歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取り、感想文を書こうとしている。	・短歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ったうえでの感想文を書こうとしていない。

■ 「秋の航—俳句抄」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・句集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・句集や作者について知識を深めている。	・句集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・それぞれの俳句に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに各句で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・それぞれの俳句に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・それぞれの俳句に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
表現・判断・思考	③内容把握 読 (1) ア	・それぞれの俳句について、情景や心情を読み取り、その内容を説明している。	・それぞれの俳句について、情景や心情を読み取っている。	・それぞれの俳句について、情景や心情を読み取っていない。
	④表現の理解 読 (1) ウ	・俳句の表現技法やその効果について理解し、その内容を説明している。	・俳句の表現技法やその効果について理解している。	・俳句の表現技法やその効果について理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤考察・レポート	・俳句の特徴や表現効果を理解し、それぞれの句に込められた情景や心情を読み取って感想文を書き、さらに他者の感想文を読んで自分の考えを深めようとしている。	・俳句の特徴や表現効果を理解し、それぞれの句に込められた情景や心情を読み取り、感想文を書こうとしている。	・俳句の特徴や表現効果を理解し、それぞれの句に込められた情景や心情を読み取ったうえでの感想文を書こうとしていない。

■ 「小景異情」ループブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・詩集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・詩集や作者について知識を深めている。	・詩集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本詩で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
表現・判断・思考	③内容把握 読 (1) アイ	・詩全体の内容や意味を捉え、それについて説明している。 ・「ふるさと」に対する作者の心情について考えてまとめ、その内容を説明している。	・詩全体の内容や意味を捉えている。 ・「ふるさと」に対する作者の心情について考え、まとめている。	・詩全体の内容や意味を捉えていない。 ・「ふるさと」に対する作者の心情について考え、まとめていない。
	④考察・話し合い	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えるとともに、話し合いなどを通じて、自分の考えをさらに深めようとしている。	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしている。	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしていない。

■ 「一つのメルヘン」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・詩集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・詩集や作者について知識を深めている。	・詩集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本詩で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) アイ	・各連に描かれた情景を捉え、その内容を説明している。 ・「さらさらと」の繰り返しや「蝶」の出現の効果について考えてまとめ、その内容を説明している。 ・詩に込められた作者の心情について考えてまとめ、それについて根拠をもって説明している。	・各連に描かれた情景を捉えている。 ・「さらさらと」の繰り返しや「蝶」の出現の効果について考え、まとめている。 ・詩に込められた作者の心情について考え、まとめている。	・各連に描かれた情景を捉えていない。 ・「さらさらと」の繰り返しや「蝶」の出現の効果について考え、まとめていない。 ・詩に込められた作者の心情について考え、まとめていない。
学習に主体的に取り組む態度	④考察・話し合い	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えるとともに、話し合いなどを通じて、自分の考えをさらに深めようとしている。	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしている。	・詩に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしていない。

■ 「I was born」 ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・詩集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・詩集や作者について知識を深めている。	・詩集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本詩で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・散文詩の特徴を理解し、その内容を説明している。 ・「父」に話しかけるまでの「僕」の気持ちの流れを読み取り、その内容を説明している。 ・「父」が「蜉蝣」の話をした思いを読み取り、その内容を説明している。 ・「父」から「蜉蝣」の話を聞いた「僕」の思いを読み取り、その内容を説明している。 ・題名に込められた作者の心情について考えてまとめる、それについて根拠を持って説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散文詩の特徴を理解している。 ・「父」に話しかけるまでの「僕」の気持ちの流れを読み取っている。 ・「父」が「蜉蝣」の話をした思いを読み取っている。 ・「父」から「蜉蝣」の話を聞いた「僕」の思いを読み取っている。 ・題名に込められた作者の心情について考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散文詩の特徴を理解していない。 ・「父」に話しかけるまでの「僕」の気持ちの流れを読み取っていない。 ・「父」が「蜉蝣」の話をした思いを読み取っていない。 ・「父」から「蜉蝣」の話を聞いた「僕」の思いを読み取っていない。 ・題名に込められた作者の心情について考え、まとめていない。
学習に主体的に組む態度	④考察・話し合い	・詩や題名に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えるとともに、話し合いなどを通じて、自分の考えをさらに深めようとしている。	・詩や題名に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしている。	・詩や題名に込められた作者の心情について、自分の考えを伝えようとしていない。

■ 「あいだ」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・詩集や作者について知識を深め、その内容を説明している。	・詩集や作者について知識を深めている。	・詩集や作者について知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本詩で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・詩に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) ア	・終わりの3行に込められた作者の思いを理解し、それについて根拠をもって説明している。	・終わりの3行に込められた作者の思いを理解している。	・終わりの3行に込められた作者の思いを理解していない。
	④表現の理解 読 (1) ウ	・本詩における表現の工夫を理解し、その内容を説明している。 ・作者が用いている特徴的な表現について考えてまとめ、その内容を説明している。	・本詩における表現の工夫を理解している。 ・作者が用いている特徴的な表現について考え、まとめている。	・本詩における表現の工夫を理解していない。 ・作者が用いている特徴的な表現について考え、まとめていない。
学習主体的に取り組む態度	⑤レポート・発表	・詩に込められた作者の心情を理解し、人ととの関係の在り方について、自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・詩に込められた作者の心情を理解し、人ととの関係の在り方について、自分の考えを文章にまとめようとしている。	・詩に込められた作者の心情を理解し、人ととの関係の在り方について、自分の考えを文章にまとめようとしていない。

■ 「桜に関する作品を読み比べる」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の文章の作品や作者について、知識を深め、それぞれの特徴や概要を説明している。	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の文章の作品や作者について、知識を深めている。	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の文章の作品や作者について、知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウエ	・それぞれの作品に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・それぞれの作品に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・それぞれの作品に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
	③言語文化の理解 (2) ア	・日本文学における桜を題材とする詩歌や文章について理解し、その内容を説明している。	・日本文学における桜を題材とする詩歌や文章について理解している。	・日本文学における桜を題材とする詩歌や文章について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読 (1) エ	・古典和歌において桜がどのように詠まれているかを捉え、その内容を説明している。 ・近現代の詩歌において桜に託された筆者の思いを読み取って共通点と相違点をまとめ、根拠とともに説明している。 ・現代の文章における桜を巡る筆者の考え方の変化を読み取り、その内容を説明している。	・古典和歌において桜がどのように詠まれているかを捉えている。 ・近現代の詩歌において桜に託された筆者の思いを読み取り、共通点と相違点をまとめている。 ・現代の文章における桜を巡る筆者の考え方の変化を読み取っている。	・古典和歌において桜がどのように詠まれているかを捉えていない。 ・近現代の詩歌において桜に託された筆者の思いを読み取り、共通点と相違点をまとめていない。 ・現代の文章における桜を巡る筆者の考え方の変化を読み取っていない。
	⑤考え方の形成 読 (1) オ	・桜を題材とする詩歌や文章を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・桜を題材とする詩歌や文章を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・桜を題材とする詩歌や文章を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑥比較・読み比べ・レポート	・桜を題材とする詩歌や文章の読み比べを通して気づいたことを文章にまとめ、さらに他者の文章を読んで自分の考え方を深めようとしている。	・桜を題材とする詩歌や文章の読み比べを通して気づいたことを文章にまとめようとしている。	・桜を題材とする詩歌や文章の読み比べを通して気づいたことを文章にまとめようとしていない。

■『宇治拾遺物語』「児のそら寝」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・説話というジャンルがどのようなものかを理解し、『宇治拾遺物語』の構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の貴族や武士などの生活について理解し、その内容を説明している。	・当時の貴族や武士などの生活について理解している。	・当時の貴族や武士などの生活について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解し、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解している。	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) ア	・児の気持ちの変化を、順を追って整理し、根拠とともに説明している。 ・本文の最後の描写の意味について理解し、そのおもしろさを説明している。	・児の気持ちの変化を、順を追って整理している。 ・本文の最後の描写の意味について理解している。	・児の気持ちの変化を、順を追って整理していない。 ・本文の最後の描写の意味について理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	⑦考察・発表	・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取るとともに、その内容を他人に説明しようとしている。	・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ろうとしていない。

■『今鏡』「用光と白波」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・歴史物語というジャンルがどのようなものかを理解し、『今鏡』の構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・歴史物語というジャンルがどのようなものかを理解している。	・歴史物語というジャンルがどのようなものかを理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の文化や旧国名について理解し、その内容を説明している。	・当時の文化や旧国名について理解している。	・当時の文化や旧国名について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解し、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 ・古語の品詞や活用について理解を深めて古語辞典が引け、さらに本文で使用されている以外の古語の知識を得ている。	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解している。 ・古語の品詞や活用について理解を深め、古語辞典が引けるようになっている。	・歴史的仮名遣いのきまりについて理解していない。 ・古語の品詞や活用について理解を深め、古語辞典が引けるようになっていない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) ア	・最初の段落から、用光と海賊の行動・心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・最後の段落から、筆者がどのようなことを述べているのか理解し、その内容を説明している。	・最初の段落から、用光と海賊の行動・心情を読み取っている。 ・最後の段落から、筆者がどのようなことを述べているのか理解している。	・最初の段落から、用光と海賊の行動・心情を読み取っていない。 ・最後の段落から、筆者がどのようなことを述べているのか理解していない。
組む態度 学習に取り組む主体的	⑦考察・発表	・進んで文語の品詞について理解し、登場人物の心情を読み取るとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・進んで文語の品詞について理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・進んで文語の品詞について理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。

■『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・説話というジャンルがどのようなものかを理解し、『宇治拾遺物語』の構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の絵仏師という職業について理解し、その内容を説明している。	・当時の絵仏師という職業について理解している。	・当時の絵仏師という職業について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・文語の活用について理解を深め、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。	・文語の活用について理解を深めている。	・文語の活用について理解を深めていない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) ア	・人々と良秀の言動を読み取り、根拠とともに説明している。 ・絵を描くことに対する良秀の姿勢がどのようなものかを読み取り、その内容を説明している。	・人々と良秀の言動を読み取っている。 ・絵を描くことに対する良秀の姿勢がどのようなものかを読み取っている。	・人々と良秀の言動を読み取っていない。 ・絵を描くことに対する良秀の姿勢がどのようなものかを読み取っていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑦考察・発表	・進んで文語の活用について理解し、登場人物の人物像を読み取るとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・進んで文語の活用について理解し、登場人物の人物像を読み取ろうとしている。	・進んで文語の活用について理解し、登場人物の人物像を読み取ろうとしていない。

■『十訓抄』「大江山の歌」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・説話というジャンルがどのようなものかを理解し、『十訓抄』の構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解している。	・説話というジャンルがどのようなものかを理解していない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の貴族の生活や文化について理解し、その内容を説明している。	・当時の貴族の生活や文化について理解している。	・当時の貴族の生活や文化について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・用言の活用について理解を深め、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 ・係り結び、仮定条件と確定条件について理解し、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。	・用言の活用について理解を深めている。 ・係り結び、仮定条件と確定条件について理解している。	・用言の活用について理解を深めていない。 ・係り結び、仮定条件と確定条件について理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。	・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) ア ・定頼中納言の言動を読み取り、根拠とともに説明している。 ・小式部内侍のとった行動、和歌に込められた思いを読み取り、その内容を説明している。	・定頼中納言の言動を読み取っている。 ・小式部内侍のとった行動、和歌に込められた思いを読み取っている。	・定頼中納言の言動を読み取っていない。 ・小式部内侍のとった行動、和歌に込められた思いを読み取っていない。
学習主体的に取り組む態度	⑦考察・発表 ・進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、登場人物の言動と和歌の内容を読み取るとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、登場人物の言動と和歌の内容を読み取ろうとしている。	・進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、登場人物の言動と和歌の内容を読み取ろうとしていない。

■『徒然草』「丹波に出雲といふ所あり」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『徒然草』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めている。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の文化や旧国名について理解し、その内容を説明している。	・当時の文化や旧国名について理解している。	・当時の文化や旧国名について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明している。 ・登場人物の心情とその変化を読み取り、その内容を説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・登場人物の心情とその変化を読み取っている。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・登場人物の心情とその変化を読み取っていない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ ・作者が興味を持った事柄から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者が興味を持った事柄から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者が興味を持った事柄から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
組む態度 主体的に 学習に取り 組む態度 主体的に 学習に取り	⑧レポート・発表 ・作者が興味を持った事柄についてどのように思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・作者が興味を持った事柄についてどのように思うか文章にまとめようとしている。	・作者が興味を持った事柄についてどのように思うか文章にまとめようとしていない。

■『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『徒然草』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めている。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の仏教的思想について理解し、その内容を説明している。	・当時の仏教的思想について理解している。	・当時の仏教的思想について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・第一段落「弓射ることを習ふ」、第二段落「道を学する」際の「懈怠の心」がそれぞれどのようなものかを読み取り、その内容を説明している。 ・本文における作者の考えを読み取り、根拠をもとに説明している。	・第一段落「弓射ることを習ふ」、第二段落「道を学する」際の「懈怠の心」がそれぞれどのようなものかを読み取っている。 ・本文における作者の考えを読み取っている。	・第一段落「弓射ることを習ふ」、第二段落「道を学する」際の「懈怠の心」がそれぞれどのようなものかを読み取っていない。 ・本文における作者の考えを読み取っていない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ ・作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

学習に取り組む態度 主体的に	⑧レポート・発表	<ul style="list-style-type: none"> 作者の考えについてどのように思うか文章にまとめる、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の考えについてどのように思うか文章にまとめるようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の考えについてどのように思うか文章にまとめるようとしていない。
-------------------	----------	---	--	---

■『徒然草』「九月二十日のころ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『徒然草』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めている。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧暦や月の満ち欠けと月齢、当時の住居の様子について理解し、その内容を説明している。	・旧暦や月の満ち欠けと月齢、当時の住居の様子について理解している。	・旧暦や月の満ち欠けと月齢、当時の住居の様子について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明している。 ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取り、その内容を説明している。 ・「その人」に対する作者の心情を理解し、根拠とともに説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取っている。 ・「その人」に対する作者の心情を理解している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取っていない。 ・「その人」に対する作者の心情を理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・作者の「その人」に対する評価から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者の「その人」に対する評価から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者の「その人」に対する評価から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

り学主 組習体 むに的 態取に	⑧レポート・発表	・作者の「その人」に対する評価についてどのように思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・作者の「その人」に対する評価についてどのように思うか、文章にまとめようとしている。	・作者の「その人」に対する評価についてどのように思うか、文章にまとめようとしていない。
--------------------------	----------	--	--	---

■『徒然草』「今日はそのことをなさんと思へど」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『徒然草』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めている。	・『徒然草』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・仏教的無常観について理解を深め、その内容を説明している。	・仏教的無常観について理解を深めている。	・仏教的無常観について理解を深めていない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明している。 ・本文における作者の考えを読み取り、その内容を説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・本文における作者の考えを読み取っている。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・本文における作者の考えを読み取っていない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ ・作者の処世観から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者の処世観から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者の処世観から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習主体的に取り組む態度	⑧レポート・発表 ・作者の処世観についてどのように思うか、自分の体験を踏まえて文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・作者の処世観についてどのように思うか、自分の体験を踏まえて文章にまとめようとしている。	・作者の処世観についてどのように思うか、自分の体験を踏まえて文章にまとめようとしていない。

■『方丈記』「ゆく河の流れ」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『方丈記』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『方丈記』とその作者について、知識を深めている。	・『方丈記』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の仏教的無常観について理解し、その内容を説明している。	・当時の仏教的無常観について理解している。	・当時の仏教的無常観について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の用言の識別などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の用言の識別などの文法事項を理解している。	・本文中の用言の識別などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・「人」と「栖」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取り、その内容を説明している。 ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解し、根拠をもとに説明している。	・「人」と「栖」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取っている。 ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解している。	・「人」と「栖」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取っていない。 ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解していない。
	⑦表現の理解 読 (1) ウ	・対句表現が文章にもたらす効果を理解し、その内容を説明している。	・対句表現やその効果について理解している。	・対句表現やその効果について理解していない。
学習に取り組む態度 主体的に	⑧考察・発表	・表現の特色を理解しながら内容を解釈し、『方丈記』で描かれる「無常観」について自分の考	・表現の特色を理解しながら内容を解釈し、『方丈記』で描かれる「無常観」について、自分の考えを持とうとしている。	・表現の特色を理解しながら内容を解釈せず、『方丈記』で描かれる「無常観」について、自分の考えを持とうとしていない。

		えを持ち、根拠をもって説明しようとしている。		
--	--	------------------------	--	--

■『枕草子』「五月ばかりなどに山里に歩く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『枕草子』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『枕草子』とその作者について、知識を深めている。	・『枕草子』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧暦や当時の乗り物について理解し、その内容を説明している。	・旧暦や当時の乗り物について理解している。	・旧暦や当時の乗り物について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウエ	・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・第一段落で描かれた情景を読み取り、その内容を説明している。 ・第二段落で描かれた出来事を理解し、その内容を説明している。 ・本文全体から読み取れる作者の気分を理解し、根拠とともに説明している。	・第一段落で描かれた情景を読み取っている。 ・第二段落で描かれた出来事を理解している。 ・本文全体から読み取れる作者の気分を理解している。	・第一段落で描かれた情景を読み取っていない。 ・第二段落で描かれた出来事を理解していない。 ・本文全体から読み取れる作者の気分を理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・作者の気分を想像し、そこから自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者の気分を想像し、そこから自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者の気分を想像し、そこから自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

学習に取り組む態度	⑧レポート・発表	<ul style="list-style-type: none"> 作者の感性についてどのように思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の感性についてどのように思うか、文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者の感性についてどのように思うか、文章にまとめようとしていない。
-----------	----------	--	--	---

■『枕草子』「ありがたきもの」

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『枕草子』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『枕草子』とその作者について、知識を深めている。	・『枕草子』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の宮中における生活について理解を深め、その内容を説明している。	・当時の宮中における生活について理解を深めている。	・当時の宮中における生活について理解を深めていない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウエ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文中に列挙された事例のそれぞれについて読み取り、その内容を説明している。 ・本文中の「ありがたし」の語義について理解し、その内容を説明している。 ・本文中に列挙されているものが「ありがたし」とされる理由を理解し、根拠とともに説明している。	・本文中に列挙された事例のそれぞれについて読み取っている。 ・本文中の「ありがたし」の語義について理解している。 ・本文中に列挙されているものが「ありがたし」とされる理由を理解している。	・本文中に列挙された事例のそれぞれについて読み取っていない。 ・本文中の「ありがたし」の語義について理解していない。 ・本文中に列挙されているものが「ありがたし」とされる理由を理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ ・作者の考え方から自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・作者の考え方から自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・作者の考え方から自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

組 学 習 に 取 り 度 主 体 的 に	⑧レポート・発表	<p>・「ありがたきもの」を参考にして、現代版「〇〇もの」を文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>・「ありがたきもの」を参考にして、現代版「〇〇もの」を文章にまとめようとしている。</p>	<p>・「ありがたきもの」を参考にして、現代版「〇〇もの」を文章にまとめようとしていない。</p>
---	----------	---	--	---

■『伊勢物語』「芥川」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『伊勢物語』について、構成や内容、後世に与えた影響等を理解し、その概要を説明している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解している。	・『伊勢物語』について、構成や内容理解していない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の恋愛や結婚、貴族女性の生活について理解し、その内容を説明している。	・当時の恋愛や結婚、貴族女性の生活について理解している。	・当時の恋愛や結婚、貴族女性の生活について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文前半部分から、女はどのような身分の女性であるかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・和歌に込められた男の心情を読み取り、根拠とともに説明している。	・本文前半部分から、女はどのような身分の女性であるかを読み取っている。 ・和歌に込められた男の心情を読み取っている。	・本文前半部分から、女はどのような身分の女性であるかを読み取っていない。 ・和歌に込められた男の心情を読み取っていない。
	⑦和歌表現の特徴の理解 読 (1) ウ ・縁語が和歌全体にもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・和歌に縁語の修辞法が使われていることを理解している。	・和歌に縁語の修辞法が使われていることを理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	⑧比較・読み比べ ・本文と教科書に掲載されている『伊勢物語絵巻』を比較し、男あるいは女のその場面ごとの心情を推測しようとしている。	・本文と教科書に掲載されている『伊勢物語絵巻』を比較し、場面を読み取ろうとしている。	・本文と教科書に掲載されている『伊勢物語絵巻』を比較し、場面を読み取ろうとしていない。

■『伊勢物語』「東下り」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『伊勢物語』について、構成や内容、後世に与えた影響等を理解し、その概要を説明している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧国名や当時の貴族男性の生活について理解し、その内容を説明している。	・旧国名や当時の貴族男性の生活について理解している。	・旧国名や当時の貴族男性の生活について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・場面の区切りを把握して話の概略を理解し、根拠とともに説明している。 ・「男」が「東下り」をするに至った事情を理解し、その内容を説明している。 ・和歌に詠み込まれた情景や心情を読み取り、その内容を説明している。 ・第五段落から、「すみだ川」のほとりでの、男たちの心情を読み取り、その内容を説明している。	・場面の区切りを把握し、話の概略を理解している。 ・「男」が「東下り」をするに至った事情を理解している。 ・和歌に詠み込まれた情景や心情を読み取っている。 ・第五段落から、「すみだ川」のほとりでの、男たちの心情を読み取っている。	・場面の区切りを把握し、話の概略を理解していない。 ・「男」が「東下り」をするに至った事情を理解していない。 ・和歌に詠み込まれた情景や心情を読み取っていない。 ・第五段落から、「すみだ川」のほとりでの、男たちの心情を読み取っていない。
	⑦和歌表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・序詞、掛詞、縁語が和歌全体にもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・和歌に序詞、掛詞、縁語の修辞法が使われていることを理解している。	・和歌に序詞、掛詞、縁語の修辞法が使われていることを理解していない。

学習に取り組む態度	⑧考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> 東国へ下っていく男たちの心情の変化について、和歌に着目して文章にまとめ、その内容を他者に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東国へ下っていく男たちの心情の変化について、和歌に着目して文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東国へ下っていく男たちの心情の変化について、和歌に着目して文章にまとめようとしていない。
-----------	--------	---	---	--

■『伊勢物語』「筒井筒」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『伊勢物語』について、構成や内容、後世に与えた影響等を理解し、その概要を説明している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧国名や当時の恋愛や結婚について理解し、その内容を説明している。	・旧国名や当時の恋愛や結婚について理解している。	・旧国名や当時の恋愛や結婚について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・場面の区切りを把握して話の概略を理解し、根拠とともに説明している。 ・三人の登場人物の心情を、地の文と和歌から読み取り、その内容を説明している。	・場面の区切りを把握し、話の概略を理解している。 ・三人の登場人物の心情を、地の文と和歌から読み取っている。	・場面の区切りを把握し、話の概略を理解していない。 ・三人の登場人物の心情を、地の文と和歌から読み取っていない。
	⑦和歌表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・序詞、掛詞が和歌全体にもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・和歌に序詞、掛詞の修辞法が使われていることを理解している。	・和歌に序詞、掛詞の修辞法が使われていることを理解していない。
組む態度 学習に取り組む態度 主体的	⑧考察・発表	・二人の女の人物像について、本文の内容を基に整理するとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・二人の女の人物像について、本文の内容を基に整理しようとしている。	・二人の女の人物像について、本文の内容を基に整理しようとしていない。

■「言語活動 『伊勢物語』と『大和物語』を読み比べる」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	
知識・技能	①文学史 (1) ア ②背景知識 (1) ウ (2) イ	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』の成立時期や構成、内容等を理解し、その概要を説明している。 ・当時の恋愛や結婚について理解し、その内容を説明している。 ・歌物語の特徴を理解し、その概要を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』の成立時期や構成、内容等を理解している。 ・当時の恋愛や結婚について理解している。 ・歌物語の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』の成立時期や構成、内容等を理解していない。 ・当時の恋愛や結婚について理解していない。 ・歌物語の特徴を理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
	⑤内容把握 読 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・「筒井筒」と『大和物語』の三つの場面との相違点をまとめ、根拠とともに説明している。 ・相違点を踏まえてそれぞれの話の特徴をまとめ、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「筒井筒」と『大和物語』の三つの場面との相違点をまとめている。 ・相違点を踏まえてそれぞれの話の特徴をまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「筒井筒」と『大和物語』の三つの場面との相違点をまとめていない。 ・相違点を踏まえてそれぞれの話の特徴をまとめていない。
思考・判断・表現	⑥考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「筒井筒」と『大和物語』とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
	⑦考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめるとともに、発表や話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』と『大和物語』を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめようとしていない。

■『伊勢物語』「梓弓」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『伊勢物語』について、構成や内容、後世に与えた影響等を理解し、その概要を説明している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解している。	・『伊勢物語』について、構成や内容を理解していない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の恋愛や結婚について理解し、その内容を説明している。	・当時の恋愛や結婚について理解している。	・当時の恋愛や結婚について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・本文中の出来事の推移を把握し、根拠とともに説明している。 ・男と女の心情を、地の文と和歌から読み取り、その内容を説明している。	・本文中の出来事の推移を把握している。 ・男と女の心情を、地の文と和歌から読み取っている。	・本文中の出来事の推移を把握していない。 ・男と女の心情を、地の文と和歌から読み取っていない。
	⑦和歌表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・枕詞、序詞が和歌全体にもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・和歌に枕詞、序詞の修辞法が使われていることを理解している。	・和歌に枕詞、序詞の修辞法が使われていることを理解していない。
組む態度 学習に取り組む態度 主体的	⑧考察・発表	・女が詠んだ三首の歌に込められた心情について、本文の内容を基に整理するとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・女が詠んだ三首の歌に込められた心情について、本文の内容を基に整理しようとしている。	・女が詠んだ三首の歌に込められた心情について、本文の内容を基に整理しようとしていない。

■「言語活動 和歌を自分の言葉で書き換える」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
能 知 識 ・ 技	①背景知識 〔2〕ア	・平安時代には、和歌がコミュニケーションツールだったことを理解し、他者に説明している。	・平安時代には、和歌がコミュニケーションツールだったことを理解している。	・平安時代には、和歌がコミュニケーションツールだったことを理解していない。
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	②内容把握 〔読〕イ	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌のメッセージの核心を読み取り、他者に説明している。	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌のメッセージの核心を読み取っている。	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌のメッセージの核心を読み取っていない。
	③考え方の形成 〔読〕オ	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌を、その内容や解釈を踏まえながら、自分の言葉で書き換えている。	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌を、自分の言葉で書き換えている。	・「駿河なる…」「筒井筒…」「くらべこし…」「あらたまの…」「梓弓真弓…」「梓弓引けど…」の歌を、自分の言葉で書き換えていない。
	④表現の理解 〔読〕ウ	・和歌の修辞法やその効果について理解し、他者に説明している。	・和歌の修辞法やその効果について理解している。	・和歌の修辞法やその効果について理解していない。
組 む 態 度 学 習 に 取 り 主 体 的 に	⑤創作・話し合い	・和歌を自分の言葉で書き換え、解釈の違いや表現の工夫について批評し合うことを通して、自分の考え方をさらに深めようとしている。	・和歌を自分の言葉で書き換え、解釈の違いや表現の工夫について批評し合おうとしている。	・和歌を自分の言葉で書き換え、解釈の違いや表現の工夫について批評し合おうとしていない。

■ 「言語活動 『伊勢物語』と絵画・工芸」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
技能・知識	①後世への影響 (1) ア	・『伊勢物語』が後世の美術工芸に与えた影響について理解し、他者に説明している。	・『伊勢物語』が後世の美術工芸に与えた影響について理解している。	・『伊勢物語』が後世の美術工芸に与えた影響について理解していない。
思考・判断・表現	②内容把握 読 (1) ア	・151 ページの①～③の絵が、「東下り」のどの場面を描いているものか理解し、根拠とともに説明している。	・151 ページの①～③の絵が、「東下り」のどの場面を描いているものか、理解している。	・151 ページの①～③の絵が、「東下り」のどの場面を描いているものか、理解していない。
	③考え方の形成 読 (1) オ	・①～③の絵について、「東下り」の本文との対応を考え、根拠を示しながら解説文を書いている。	・①～③の絵について、「東下り」の本文との対応を考えながら解説文を書いている。	・①～③の絵について、「東下り」の本文との対応を考えながら解説文を書いていない。
学習に取り組む態度	④調査・レポート	・『伊勢物語』を元にした絵画と本文との対応について考え、自分の考えを文章にまとめるとともに、それについて根拠をもって説明しようとしている。	・『伊勢物語』を元にした絵画と本文との対応について考え、自分の考えを文章にまとめようとしている。	・『伊勢物語』を元にした絵画と本文との対応について考え、自分の考えを文章にまとめようとしていない。

■『土佐日記』「馬のはなむけ」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『土佐日記』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めている。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧国名や旧暦、古時刻について理解し、その内容を説明している。 ・当時の旅のしきたりや、船旅の困難さについて理解し、その内容を説明している。	・旧国名や旧暦、古時刻について理解している。 ・当時の旅のしきたりや、船旅の困難さについて理解している。	・旧国名や旧暦、古時刻について理解していない。 ・当時の旅のしきたりや、船旅の困難さについて理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・特徴的な表現を把握し、作品の特色を理解するとともに、その内容を説明している。	・特徴的な表現を把握し、作品の特色を理解している。	・特徴的な表現を把握し、作品の特色を理解していない。
	⑦内容把握 読 (1) エ	・本文から、当時の人々の旅の様子を読み取り、根拠とともに説明している。 ・本文冒頭から、作者の意図を読み取り、その内容を説明している。	・本文から、当時の人々の旅の様子を読み取っている。 ・本文冒頭から、作者の意図を読み取っている。	・本文から、当時の人々の旅の様子を読み取っていない。 ・本文冒頭から、作者の意図を読み取っていない。
学習に取り組む態度 主体的に	⑧考察・発表	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えるとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしている。	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしていない。

■『土佐日記』「羽根といふ所」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『土佐日記』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めている。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・旧国名や旅程について理解し、その内容を説明している。	・旧国名や旅程について理解している。	・旧国名や旅程について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・「世の中に…」の和歌の表現上の特徴とその効果について理解するとともに、その内容を説明している。 ・特徴的な文末表現を指摘し、理解するとともに、その内容を説明している。	・「世の中に…」の和歌の表現上の特徴とその効果について理解している。 ・特徴的な文末表現を指摘し、理解している。	・「世の中に…」の和歌の表現上の特徴とその効果について理解していない。 ・特徴的な文末表現を指摘し、理解していない。
	⑦内容把握 読 (1) エ	・本文に即して話の内容を読み取り、根拠とともに説明している。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取り、その内容を説明している。	・本文に即して話の内容を読み取っている。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取っている。	・本文に即して話の内容を読み取っていない。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取っていない。

学習に取り組む態度	⑧考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えるとともに、その内容を他者に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしていない。
-----------	--------	---	--	---

■『土佐日記』「帰京」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『土佐日記』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めている。	・『土佐日記』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の家の様子について理解し、その内容を説明している。	・当時の家の様子について理解している。	・当時の家の様子について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・本文末尾の一文が、冒頭と照応している結語であることを理解するとともに、その内容を説明している。	・本文末尾の一文が、冒頭と照応している結語であることを理解している。	・本文末尾の一文が、冒頭と照応している結語であることを理解していない。
	⑦内容把握 読 (1) エ	・本文に即して話の内容を読み取り、根拠とともに説明している。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取り、その内容を説明している。	・本文に即して話の内容を読み取っている。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取っている。	・本文に即して話の内容を読み取っていない。 ・和歌を詠むに至った経緯、和歌に託された心情を読み取っていない。
学習に取り組む態度 主体的に	⑧考察・発表	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えるとともに、その内容を他者に説明しようとしている。	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしている。	・進んで本文の表現の特色を理解し、作品に込められた意図を考えようとしていない。

■『万葉集』ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『万葉集』の文学史上の位置や主な歌人について理解し、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『万葉集』の文学史上の位置や主な歌人について理解している。	・『万葉集』の文学史上の位置や主な歌人について理解していない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の様々な立場の人の生活について理解を深め、その内容を説明している。	・当時の様々な立場の人の生活について理解を深めている。	・当時の様々な立場の人の生活について理解を深めていない。
	③古文重要語句 (1) ウ ・歌中の古文重要語句や用法を理解し、さらに歌中で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④音読 (1) ウ ・歌の句切れやリズムに注意し、短歌・長歌を正確に音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、短歌・長歌を音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、短歌・長歌を音読していない。
	⑤表現技法の理解 (1) オ ・長歌と反歌の役割を理解し、その内容を説明している。 ・句切れや韻律について、理解を深め、その内容を説明している。	・長歌と反歌の役割を理解している。 ・句切れや韻律について、理解を深めている。	・長歌と反歌の役割を理解していない。 ・句切れや韻律について、理解を深めていない。
	⑥文法理解 (2) ウ ・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑦現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳していない。
	⑧内容把握 読 (1) アイ ・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解し、根拠とともに説明している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解していない。
	⑨表現の特色の理解 読 (1) ウ ・『万葉集』の表現の特色について理解し、その内容を説明している。	・『万葉集』の表現の特色について理解している。	・『万葉集』の表現の特色について理解していない。

学習 に取り組む態度	⑩考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> 進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取るとともに、その内容を他者に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしていない。
---------------	--------	---	--	---

■『古今和歌集』ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解し、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解している。	・『古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解していない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の和歌集編纂のあり方について理解を深め、その内容を説明している。	・当時の和歌集編纂のあり方について理解を深めている。	・当時の和歌集編纂のあり方について理解を深めていない。
	③古文重要語句 (1) ウ ・歌中の古文重要語句や用法を理解し、さらに歌中で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④音読 (1) ウ ・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を正確に音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を音読していない。
	⑤表現技法の理解 (1) オ ・和歌に用いられている修辞技法を理解し、その内容を説明している。	・和歌に用いられている修辞技法を理解している。	・和歌に用いられている修辞技法を理解していない。
	⑥文法理解 (2) ウ ・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑦現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳していない。
	⑧内容把握 読 (1) アイ ・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解し、根拠とともに説明している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解していない。
	⑨表現の特色の理解 読 (1) ウ ・『古今和歌集』の表現の特色について理解し、その内容を説明している。	・『古今和歌集』の表現の特色について理解している。	・『古今和歌集』の表現の特色について理解していない。
り学主 組習体 むに的 態取に	⑩考察・発表 ・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしていない。

		るとともに、その内容を他者に説明しようと している。		
--	--	-------------------------------	--	--

■「言語活動 『古今和歌集』と『土佐日記』を読み比べる—阿倍仲麻呂の歌」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『古今和歌集』と『土佐日記』の成立時期や構成、内容等を理解し、その概要を説明している。	・『古今和歌集』と『土佐日記』の成立時期や構成、内容等を理解している。	・『古今和歌集』と『土佐日記』の成立時期や構成、内容等を理解していない。
	②背景知識 (1) ウ (2) イ	・阿倍仲麻呂の経歴を理解し、その概要を説明している。 ・日本と「唐土」(唐)の時代状況について理解し、その概要を説明している。	・阿倍仲麻呂の経歴を理解している。 ・日本と「唐土」(唐)の時代状況について理解している。	・阿倍仲麻呂の経歴を理解していない。 ・日本と「唐土」(唐)の時代状況について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤ 内容把握 読 (1) イエ	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)の場面の共通点と相違点を整理し、根拠とともに説明している。 ・紀貫之と阿倍仲麻呂のおかれた状況や心情を読み取り、根拠とともに説明している。	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)の場面の共通点と相違点を整理している。 ・紀貫之と阿倍仲麻呂のおかれた状況や心情を読み取っている。	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)の場面の共通点と相違点を整理していない。 ・紀貫之と阿倍仲麻呂のおかれた状況や心情を読み取っていない。
	⑥考え方の形成 読 (1) オ	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・『古今和歌集』(阿倍仲麻呂の歌と左注)と『土佐日記』(正月二十日)とを読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

■『新古今和歌集』ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『新古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解し、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『新古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解している。	・『新古今和歌集』の文学史上の位置や撰者、主な歌人について理解していない。
	②背景知識 (1) ウ ・『新古今和歌集』が成立した時代の政治状況について理解し、その内容を説明している。	・『新古今和歌集』が成立した時代の政治状況について理解している。	・『新古今和歌集』が成立した時代の政治状況について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウ ・歌中の古文重要語句や用法を理解し、さらに歌中で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・歌中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④音読 (1) ウ ・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を正確に音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を音読している。	・歌の句切れやリズムに注意し、和歌を音読していない。
	⑤表現技法の理解 (1) オ ・和歌に用いられている修辞技法を理解し、その内容を説明している。	・和歌に用いられている修辞技法を理解している。	・和歌に用いられている修辞技法を理解していない。
	⑥文法理解 (2) ウ ・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・歌中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑦現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて歌を逐語訳していない。
	⑧内容把握 読 (1) アイ ・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解し、根拠とともに説明している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解している。	・それぞれの歌の意味、詠まれた情景や心情を理解していない。
	⑨表現の特色の理解 読 (1) ウ ・『新古今和歌集』の表現の特色について理解し、その内容を説明している。	・『新古今和歌集』の表現の特色について理解している。	・『新古今和歌集』の表現の特色について理解していない。

	<p>⑩比較・読み比べ 読（1）工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宮内卿の歌と藤原家隆の歌をそれぞれ本歌と比較し、共通点と相違点を読み取るとともに、根拠とともに説明している。 ・「秋歌上」の三首を詠み比べ、気づいたことをまとめるとともに、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮内卿の歌と藤原家隆の歌をそれぞれ本歌と比較し、共通点と相違点を読み取っている。 ・「秋歌上」の三首を詠み比べ、気づいたことをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮内卿の歌と藤原家隆の歌をそれぞれ本歌と比較し、共通点と相違点を読み取っていない。 ・「秋歌上」の三首を詠み比べ、気づいたことをまとめていない。
	<p>⑪考え方の形成 読（1）才</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
<p>学習主体的に組む態度</p>	<p>⑫考察・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取るとともに、その内容を他者に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしていない。

■「言語活動 短歌を作る」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①表現技法 (1)オ	・「折句」や「本歌取り」などの和歌の表現技法について理解し、他者に説明している。	・「折句」や「本歌取り」などの和歌の表現技法について理解している。	・「折句」や「本歌取り」などの和歌の表現技法について理解していない。
	②文法・表現の理解 (2)ウ	・文語のきまりや古典特有の表現などについて理解し、他者に説明している。	・文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。	・文語のきまりや古典特有の表現などについて理解していない。
思考・判断・表現	③表現の工夫 書(1)イ	・自分の思いが伝わるように、語句などの選び方を工夫しながら「折句」の技法を使って短歌を作っている。 ・自分の思いが伝わるように、語句などの選び方を工夫しながら「本歌取り」の技法を使って短歌を作っている。	・「折句」の技法を使って短歌を作っている。 ・「本歌取り」の技法を使って短歌を作っている。	・「折句」の技法を使って短歌を作っていない。 ・「本歌取り」の技法を使って短歌を作っていない。
学習に取り組む態度	④創作・話し合い	・短歌を作品にまとめ、表現されている思いや工夫されている点について批評し合い、話し合うことを通して、自分の考えをさらに深めようとしている。	・短歌を作品にまとめ、表現されている思いや工夫されている点などについて批評し合い、話し合おうとしている。	・短歌を作品にまとめ、表現されている思いや工夫されている点などについて批評し合い、話し合おうとしていない。

■ 「恋の歌を読み比べる」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の楽曲の作品や作者について、知識を深め、それぞれの特徴や概要を説明している。	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の楽曲の作品や作者について、知識を深めている。	・古典和歌の歌集や作者、近現代の詩歌の作品や作者、現代の楽曲の作品や作者について、知識を深めていない。
	②語句・語彙 (1) ウ	・それぞれの恋の歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・それぞれの恋の歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解している。	・それぞれの恋の歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解していない。
	③表現技法 (1) オ	・古典和歌や近現代の詩歌の表現技法について理解し、その内容を説明している。	・古典和歌や近現代の詩歌の表現技法について理解している。	・古典和歌や近現代の詩歌の表現技法について理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・古典和歌、近現代の詩歌、現代の楽曲における恋の歌について理解し、その内容を説明している。	・古典和歌、近現代の詩歌、現代の楽曲における恋の歌について理解している。	・古典和歌、近現代の詩歌、現代の楽曲における恋の歌について理解していない。
思考・判断・表現	⑤内容把握 読(1) イエ	・それぞれの詩歌や楽曲に詠まれている（歌われている）恋の気持ちを読み取って共通点と相違点をまとめ、根拠とともに説明している。	・それぞれの詩歌や楽曲に詠まれている（歌われている）恋の気持ちを読み取り、共通点と相違点をまとめている。	・それぞれの詩歌や楽曲に詠まれている（歌われている）恋の気持ちを読み取り、共通点と相違点をまとめていない。
	⑥考え方の形成 読(1) オ	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
組む態度 主体的に取り組む	⑦考察・レポート	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて鑑賞文を書き、さらに他者の鑑賞文を読んで自分の考えを深めようとしている。	・さまざまな時代の恋の歌の読み比べ、鑑賞文を書こうとしている。	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べたうえでの鑑賞文を書こうとしていない。

■『竹取物語』「天の羽衣」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『竹取物語』について知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『竹取物語』について、知識を深めている。	・『竹取物語』について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・平安時代における物語の成立と隆盛について理解し、その内容を説明している。	・平安時代における物語の成立と隆盛について理解している。	・平安時代における物語の成立と隆盛について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 ・敬語の種類、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 ・敬語の種類、用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 ・敬語の種類、用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明している。 ・王と翁との対話やかぐや姫の人物像について的確に読み取り、その内容を説明している。 ・「天の羽衣」の効力について読み取り、根拠とともに説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・王と翁との対話やかぐや姫の人物像について読み取っている。 ・「天の羽衣」の効力について読み取っている。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・王と翁との対話やかぐや姫の人物像について読み取っていない。 ・「天の羽衣」の効力について読み取っていない。

	<p>⑦考え方の形成</p> <p>読（1）才</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	<p>⑧考察・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを捉えようとしていない。

■『竹取物語』「富士の山」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『竹取物語』について知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『竹取物語』について、知識を深めている。	・『竹取物語』について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・平安時代における物語の成立と隆盛について理解し、その内容を説明している。	・平安時代における物語の成立と隆盛について理解している。	・平安時代における物語の成立と隆盛について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 ・敬語の種類、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 ・敬語の種類、用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 ・敬語の種類、用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、副詞の呼応などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ ・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明している。 ・かぐや姫の昇天後の帝の心情や行動を読み取り、その内容を説明している。 ・本文での「富士の山」の名前のいわれについて読み取り、根拠とともに説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・かぐや姫の昇天後の帝の心情や行動を読み取っている。 ・本文での「富士の山」の名前のいわれについて読み取っている。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・かぐや姫の昇天後の帝の心情や行動を読み取っていない。 ・本文での「富士の山」の名前のいわれについて読み取っていない。

	<p>⑦考え方の形成</p> <p>読（1）才</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の世界から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	<p>⑧考察・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、作り物語に表れた多様な思いを捉えようとしていない。

■『平家物語』「木曾の最期」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・軍記物語や『平家物語』について知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・軍記物語や『平家物語』について、知識を深めている。	・軍記物語や『平家物語』について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ	・当時の武士の価値観について理解し、その内容を説明している。 ・琵琶法師について知識を獲得し、その内容を説明している。	・当時の武士の価値観について理解している。 ・琵琶法師について、知識を獲得している。	・当時の武士の価値観について理解していない。 ・琵琶法師について、知識を獲得していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ	・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④文法理解 (2) ウ	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、音便の種類などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、音便の種類などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法、音便の種類などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・本文全体の構成、話の内容をつかみ、その内容を説明している。 ・義仲と巴の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・死を覚悟した義仲と兼平の心の交流について読み取り、根拠とともに説明している。 ・死に直面した人間のありさまを読み取り、その内容を説明している。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいる。 ・義仲と巴の心情を読み取っている。 ・死を覚悟した義仲と兼平の心の交流について読み取っている。 ・死に直面した人間のありさまを読み取っている。	・本文全体の構成、話の内容をつかんでいない。 ・義仲と巴の心情を読み取っていない。 ・死を覚悟した義仲と兼平の心の交流について読み取っていない。 ・死に直面した人間ありさまを読み取っていない。

	<p>⑦表現の特徴の理 解 読（1）ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名のりや装束描写など、軍記物語に特有の描写を捉え、その効果について理解するとともに、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 名のりや装束描写など、軍記物語に特有の描写を捉え、その効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 名のりや装束描写など、軍記物語に特有の描写を捉えておらず、その効果について理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	<p>⑧考察・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 義仲と兼平の心情に着目し、それぞれの死の描かれ方について文章にまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 義仲と兼平の心情に着目し、それぞれの死の描かれ方について文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 義仲と兼平の心情に着目し、それぞれの死の描かれ方について文章にまとめようとしていない。

■ 「言語活動 受け継がれる『平家物語』」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①後世への影響 (1) ア	・『平家物語』が後世の文学・芸能に与えた影響について理解し、他者に説明している。	・『平家物語』が後世の文学・芸能に与えた影響について理解している。	・『平家物語』が後世の文学・芸能に与えた影響について理解していない。
	②読書の意義 (2) カ	・『平家物語』を素材とした作品を読んだり見たりすることの意義について理解し、根拠をもって説明している。	・『平家物語』を素材とした作品を読んだり見たりすることの意義について理解している。	・『平家物語』を素材とした作品を読んだり見たりすることの意義について理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ウエ	・『平家物語』を素材とした作品を、『平家物語』本文と読み比べて共通点や相違点をまとめ、根拠をもって説明している。	・『平家物語』を素材とした作品を、『平家物語』本文と読み比べ、共通点や相違点をまとめている。	・『平家物語』を素材とした作品を、『平家物語』本文と読み比べ、共通点や相違点をまとめていない。
	④考え方の形成 読(1) オ	・『平家物語』を素材とした作品が、どのような工夫によって新たな展開をさせているのかについて自分の考えをまとめ、他者に説明している。	・『平家物語』を素材とした作品が、どのような工夫によって新たな展開をさせているのかについて、自分の考えをまとめている。	・『平家物語』を素材とした作品が、どのような工夫によって新たな展開をさせているのかについて、自分の考えをまとめていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤レポート・発表	・『平家物語』を素材とした作品について調べ、それについて自分の考えをまとめて発表し、他者の意見や感想を聞いて自分の考えをさらに深めようとしている。	・『平家物語』を素材とした作品について調べ、それについて自分の考えをまとめ、発表しようとしている。	・『平家物語』を素材とした作品について調べ、それについて自分の考えをまとめ、発表しようとしていない。

■『奥の細道』「漂泊の思ひ」ループリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『奥の細道』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めている。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・当時の名所旧跡についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・当時の名所旧跡についての知識を獲得している。	・当時の名所旧跡についての知識を獲得していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④外国の文化との関係理解 (2) ア ・冒頭の表現が李白の文章を踏まえたものであることを理解し、作者が影響を受けた李白・杜甫などについての知識を獲得している。	・冒頭の表現が李白の文章を踏まえたものであることを理解している。	・冒頭の表現が李白の文章を踏まえたものであることを理解していない。
	⑤文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑥現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑦内容把握 読 (1) アイ ・前段から、作者の旅の動機、人生観、旅の準備をする心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・「草の戸も…」の句を解釈して作者の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・後段から、旅立ちの様子とその時の作者の心情を読み取り、根拠とともに説明している。	・前段から、作者の旅の動機、人生観、旅の準備をする心情を読み取っている。 ・「草の戸も…」の句を解釈し、作者の心情を読み取っている。 ・後段から、旅立ちの様子とその時の作者の心情を読み取っている。	・前段から、作者の旅の動機、人生観、旅の準備をする心情を読み取っていない。 ・「草の戸も…」の句を解釈しておらず、作者の心情を読み取っていない。 ・後段から、旅立ちの様子とその時の作者の心情を読み取っていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「行く春や…」の句を解釈して作者の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「行く春や…」の句を解釈し、作者の心情を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「行く春や…」の句を解釈しておらず、作者の心情を読み取っていない。 	
⑧表現の特徴の理 解 読（1）ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に対句表現が使われていることを理解し、その効果について説明している。 ・俳句の季語と切れ字を理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に対句表現が使われていることを理解している。 ・俳句の季語と切れ字を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に対句表現が使われていることを理解していない。 ・俳句の季語と切れ字を理解していない。 	
⑨背景や他作品との関係理解 読（1）エ	<ul style="list-style-type: none"> ・李白の文章や『源氏物語』の記述などを踏まえていることを理解し、内容の解釈を深め、それを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・李白の文章や『源氏物語』の記述などを踏まえていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・李白の文章や『源氏物語』の記述などを踏まえていることを理解していない。 	
組む 学習に取り 主体的 に	⑩考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・旅に対する作者の考えを文章にまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅に対する作者の考えを文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅に対する作者の考えを文章にまとめようとしていない。

■『奥の細道』「平泉」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『奥の細道』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めている。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・平安時代における藤原氏三代の隆盛と衰退について理解し、その内容を説明している。	・平安時代における藤原氏三代の隆盛と衰退について理解している。	・平安時代における藤原氏三代の隆盛と衰退について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④外国の文化との関係理解 (2) ア ・中国の故事「黄粱一炊の夢」と杜甫「春望」の内容を理解し、その内容を説明している。	・中国の故事「黄粱一炊の夢」と杜甫「春望」の内容を理解している。	・中国の故事「黄粱一炊の夢」と杜甫「春望」の内容を理解していない。
	⑤文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑥現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑦内容把握 読 (1) アイ ・書かれている場所とそこでの作者の感慨を理解し、根拠とともに説明している。 ・三つの句が表す内容を読み取り、説明している。 ・自然と人為について作者はどう考えているのかを理解し、根拠とともに説明している。	・書かれている場所とそこでの作者の感慨を理解している。 ・三つの句が表す内容を読み取っている。 ・自然と人為について作者はどう考えているのかを理解している。	・書かれている場所とそこでの作者の感慨を理解していない。 ・三つの句が表す内容を読み取っていない。 ・自然と人為について作者はどう考えているのかを理解していない。
	⑧表現の特徴の理解 読 (1) ウ ・俳句の季語と切れ字を理解し、その内容を説明している。	・俳句の季語と切れ字を理解している。	・俳句の季語と切れ字を理解している。

	⑨背景や他作品との関係理解 読（1）工	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の故事「黄粱一炊夢」や杜甫の詩「春望」を踏まえていることを理解し、内容の解釈を深め、それを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の故事「黄粱一炊夢」や杜甫の詩「春望」を踏まえていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の故事「黄粱一炊夢」や杜甫の詩「春望」を踏まえていることを理解していない。
学習に取り組む態度 主体的に	⑩考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人為について、作者の考えを文章にまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人為について、作者の考えを文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人為について、作者の考えを文章にまとめようとしていない。

■『奥の細道』「大垣」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア ・『奥の細道』とその作者について、知識を深め、構成や内容、後世に与えた影響等の概要を説明している。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めている。	・『奥の細道』とその作者について、知識を深めていない。
	②背景知識 (1) ウ ・旧国名や旧暦について理解し、その内容を説明している。	・旧国名や旧暦について理解している。	・旧国名や旧暦について理解していない。
	③古文重要語句 (1) ウエ ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。	・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。
	④修辞法 (2) ア ・俳句に掛詞の修辞法が使われていることを理解し、その内容や効果について説明している。	・俳句に掛詞の修辞法が使われていることを理解している。	・俳句に掛詞の修辞法が使われていることを理解していない。
	⑤文法理解 (2) ウ ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。	・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。
思考・判断・表現	⑥現代語訳 読 (1) ア ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳している。	・文法事項等を踏まえて本文を逐語訳していない。
	⑦内容把握 読 (1) アイエ ・大垣に到着した際の作者の様子や、迎える人々の心情を読み取り、根拠とともに説明している。 ・伊勢への出発の事情を「漂泊の思ひ」と関連させながら読み取り、その内容を説明している。 ・「蛤の…」の句を解釈し、この作品の末尾に据えた意図を理解するとともに、その内容を説明している。	・大垣に到着した際の作者の様子や、迎える人々の心情を読み取っている。 ・伊勢への出発の事情を「漂泊の思ひ」と関連させながら読み取っている。 ・「蛤の…」の句を解釈し、この作品の末尾に据えた意図を理解している。	・大垣に到着した際の作者の様子や、迎える人々の心情を読み取っていない。 ・伊勢への出発の事情を「漂泊の思ひ」と関連させながら読み取っていない。 ・「蛤の…」の句を解釈し、この作品の末尾に据えた意図を理解していない。

	⑧表現の特徴の理 解 読（1）ウ	・俳句の季語と切れ字を理解し、その内容を説明している。	・俳句の季語と切れ字を理解している。	・俳句の季語と切れ字を理解していない。
学習に主体的に取り組む態度	⑨考察・発表	・『奥の細道』が新たな旅立ちで結ばれることの意味について、考えを文章にまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・『奥の細道』が新たな旅立ちで結ばれることの意味について、考えを文章にまとめようとしている。	・『奥の細道』が新たな旅立ちで結ばれることの意味について、考えを文章にまとめようしていない。

■ 「言語活動 文学碑を調べる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
技能・知識	①文学史 （1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑の概略を理解し、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑の概略を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑の概略を理解していない。
表現・思考・判断・	②材料の吟味・整理 書（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を持った文学碑について、さまざまな方法で多角的に調べている。 ・文学碑について集めた情報を整理してまとめ、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を持った文学碑について調べている。 ・文学碑について集めた情報を整理し、まとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を持った文学碑について調べていない ・文学碑について集めた情報を整理し、まとめていない。
学習に取り組む態度	③調査・レポート 主 題 的 に	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑について調べた情報を整理してまとめ、自分の住む地域と文学との関わりについて自分の考えを持ち、他者に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑について調べた情報を整理してまとめ、自分の住む地域と文学との関わりについて、自分の考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑について調べた情報を整理してまとめ、自分の住む地域と文学との関わりについて、自分の考えを持とうとしていない。

■ 「昔の犬は何と鳴く」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言語文化の理解 （2）ア	・言葉の歴史や外国語での表現について理解し、その内容を説明している。	・言葉の歴史や外国語での表現について理解している。	・言葉の歴史や外国語での表現について理解していない。
	②言葉の変遷 （2）エ	・言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し、その内容を説明している。	・言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	・言葉の変化について理解を深めておらず、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解していない。
	③読書の意義 （2）カ	・言葉の変化についての解説を読むことの意義を理解し、根拠をもって説明している。	・言葉の変化についての解説を読むことの意義を理解している。	・言葉の変化についての解説を読むことの意義を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読（1）イ	・筆者が犬の鳴き声についてどのように論証しているか、その過程を整理し、わかりやすく説明している。	・筆者が犬の鳴き声についてどのように論証しているか、その過程を整理している。	・筆者が犬の鳴き声についてどのように論証しているか、その過程を整理していない。
	⑤考え方の形成 読（1）オ	・言葉の変化についての解説を読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、その内容を説明している。	・言葉の変化についての解説を読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・言葉の変化についての解説を読み、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習主体的に取り組む態度	⑥調査・レポート	・古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめるとともに、根拠をもって説明しようとしている。	・古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめようとしている。	・古文に用いられている擬音語・擬態語について調べ、現代語と比較して気づいたことをまとめようとしていない。

■ 「文体の変遷」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (2) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大陸からの漢字文化の流入や、仮名文字の成立などについて理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大陸からの漢字文化の流入や、仮名文字の成立などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大陸からの漢字文化の流入や、仮名文字の成立などについて理解していない。
	②文体の変化 (2) オ	<ul style="list-style-type: none"> ・和漢混交文や言文一致体などの文体の変化について理解を深め、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和漢混交文や言文一致体などの文体の変化について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和漢混交文や言文一致体などの文体の変化について理解を深めていない。
思考・判断・表現	③内容把握 読 (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字で日本の言葉を書き記すために積み重ねられてきた工夫について理解し、その内容を説明している。 ・「言文一致体」について理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字で日本の言葉を書き記すために積み重ねられてきた工夫について理解している。 ・「言文一致体」について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字で日本の言葉を書き記すために積み重ねられてきた工夫について理解していない。 ・「言文一致体」について理解していない。
	④考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章を読んで文体の変遷について理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章を読んで文体の変遷について理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章を読んで文体の変遷について理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
組む態度 学習に主体的に取り組む	⑤考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文体がどのように変化してきたかを考察して自分の考えを持ち、それについて根拠をもって説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文体がどのように変化してきたかを考察し、自分の考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文体がどのように変化してきたかを考察したうえでの自分の考えを持とうとしていない。

■「訓読の基本」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
①文学史 (1) ア	・中学校で学習した漢詩・漢文の知識について確認し、その内容を説明している。	・中学校で学習した漢詩・漢文の知識について確認している。	・中学校で学習した漢詩・漢文の知識について確認していない。
②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
③外国の文化との関係理解 (2) ア	・中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史について、理解を深め、その内容を説明している。	・中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史について、理解を深めている。	・中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史について、理解を深めていない。
④訓読のきまり・書き下し文 (2) ウ	<p>【訓読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的な構造について理解し、その内容を説明している。 ・送り仮名の付け方および返り点の付け方について理解し、さらに教科書に示されている以外の熟語にも応用している。 ・白文・訓点・訓読・書き下し文についての知識を身につけ、その内容を説明している。 ・漢文の基本的な構造に慣れて的確な訓点を施し、さらに教科書に示されている以外の熟語にも応用している。 <p>【格言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を正確に読んでいる。 ・返読文字・返り点・助字・置き字・ハイフンについて知識を身につけ、正しく書き下している。 ・漢文の意味を考えて、訓点を正確に施している。 	<p>【訓読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的な構造について理解している。 ・送り仮名の付け方および返り点の付け方について理解している。 ・白文・訓点・訓読・書き下し文についての知識を身につけている。 ・漢文の基本的な構造に慣れ、的確な訓点を施している。 <p>【格言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を読んでいる。 ・返読文字・返り点・助字・置き字・ハイフンの用法について知識を身につけている。 ・漢文の意味を考えて、訓点を施している。 	<p>【訓読】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的な構造について理解していない。 ・送り仮名の付け方および返り点の付け方について理解していない。 ・白文・訓点・訓読・書き下し文についての知識を身につけていない。 ・漢文の基本的な構造に慣れておらず、的確な訓点を施していない。 <p>【格言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を読んでいない。 ・返読文字・返り点・助字・置き字・ハイフンについて知識を身につけていない。 ・漢文の意味を考えて、訓点を施していない。

		<p>【再読文字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再読文字の用法を理解し、正確に訓読している。 ・再読文字を含む漢文を正確に読み、正しく書き下し文に直すとともに、さらに教科書に示されている以外の漢文にも応用している。 ・再読文字に訓点を正確に施し、さらに教科書に示されている以外の漢文にも応用している。 	<p>【再読文字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再読文字の用法を理解している。 ・再読文字を含む漢文を正確に読み、正しく書き下し文に直している。 ・再読文字に訓点を正確に施している。 	<p>【再読文字】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再読文字の用法を理解していない。 ・再読文字を含む漢文を正確に読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・再読文字に正確に訓点を施していない。
表現 思考・判断・ 主観的 に取り組む態度	⑤現代語訳 読（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語や格言の意味を理解するとともに、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語や格言の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語や格言の意味を理解していない。
	⑦漢文学習に対する意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、古典を学ぶ意味について考えを持とうとするとともに、より深い知識を得ようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしていない。

■「言語活動 漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) イウ	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文で取り上げられている漢字を読んだり書いたりし、さらに本文で使用されている以外の読み方や使われ方の知識を得ている。 取り上げられている言葉の意味を理解し、その言葉を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文で取り上げられている漢字を読んだり書いたりしている。 取り上げられている言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文で取り上げられている漢字を読んだり書いたりしていない。 取り上げられている言葉の意味を理解していない。
	②言語文化の理解 (2) エ	<ul style="list-style-type: none"> 中国では時代や地域によって漢字の読みが異なることを理解し、他者に説明している。 日本語で使われる意味と漢文での意味の違いについて理解し、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国では時代や地域によって漢字の読みが異なることを理解している。 日本語で使われる意味と漢文での意味の違いについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国では時代や地域によって漢字の読みが異なることを理解していない。 日本語で使われる意味と漢文での意味の違いについて理解していない。
表現・判断・	③漢和辞典や漢字への理解 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文を読み、漢和辞典の活用の仕方について理解し、他者に説明している。 漢字の読みと意味の関係について理解し、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文を読み、漢和辞典の活用の仕方について理解している。 漢字の読みと意味の関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」本文を読み、漢和辞典の活用の仕方について理解していない。 漢字の読みと意味の関係について理解していない。
組む態度 学習に取り 主体的に	④調査・レポート	<ul style="list-style-type: none"> 漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について調べ、そのうえで自分の考えをレポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について調べ、レポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について調べ、レポートにまとめようとしていない。

■『故事成語—三編』「矛盾」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『韓非子』とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『韓非子』とその作者について、知識を深めている。	・『韓非子』とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得している。	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アエ	・漢文の内容を読み取り、「矛盾」の意味を理解するとともに、その内容を説明している。 ・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいを理解し、根拠とともに説明している。	・漢文の内容を読み取り、「矛盾」の意味を理解している。 ・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいを理解している。	・漢文の内容を読み取っておらず、「矛盾」の意味を理解していない。 ・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいを理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。	・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・寓話に込められた韓非ら思想家のねらいから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に取り組む態度	⑧短文作成・発表	・「矛盾」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成するとともに、発表や討論を通して自分の考え方をさらに深めようとしている。	・「矛盾」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。	・「矛盾」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。

■『故事成語—三編』「助長」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『孟子』とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『孟子』とその作者について、知識を深めている。	・『孟子』とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得している。	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アエ	・漢文の内容を読み取り、「助長」の意味を理解するとともに、その内容を説明している。 ・文末の一文が、どのようなことを述べているのかを理解し、根拠とともに説明している。	・漢文の内容を読み取り、「助長」の意味を理解している。 ・文末の一文が、どのようなことを述べているのかを理解している。	・漢文の内容を読み取っておらず、「助長」の意味を理解していない。 ・文末の一文が、どのようなことを述べているのかを理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・文末の一文に込められた作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。	・文末の一文に込められた作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・文末の一文に込められた作者の考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑧短文作成・発表	・「助長」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成するとともに、発表や討論を通して自分の考え方をさらに深めようとしている。	・「助長」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。	・「助長」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。

■『故事成語—三編』「推敲」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『唐詩紀事』とその編者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『唐詩紀事』とその編者について、知識を深めている。	・『唐詩紀事』とその編者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・「科挙」について知識を獲得し、その内容を説明している。	・「科挙」についての知識を獲得している。	・「科挙」についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アエ	・漢文の内容を読み取り、「推敲」の意味を理解するとともに、その内容を説明している。 ・韓愈が「敲の字佳し。」と判断した理由について理解し、根拠とともに説明している。	・漢文の内容を読み取り、「推敲」の意味を理解している。 ・韓愈が「敲の字佳し。」と判断した理由について理解している。	・漢文の内容を読み取っておらず、「推敲」の意味を理解していない。 ・韓愈が「敲の字佳し。」と判断した理由について理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・漢文の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。	・漢文の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・漢文の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に取り組む態度	⑧短文作成・発表	・「推敲」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成するとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・「推敲」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。	・「推敲」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。

■『寓話一三編』「借虎威」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (1) アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『戦国策』の編者や構成について理解し、その内容を説明している。 ・『戦国策』に記された春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『戦国策』の編者や構成について理解している。 ・『戦国策』に記された春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『戦国策』の編者や構成について理解していない。 ・『戦国策』に記された春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (2) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、書き下し文を訓読文に直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、訓読文を書き下し文に直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。
	④故事成語 (2) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「虎の威を借る」という故事成語の意味を理解し、その故事成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「虎の威を借る」という故事成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「虎の威を借る」という故事成語の意味を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・狐が虎に話した内容を本文から読み取り、その概要を説明している。 ・「獸見之、皆走。」となった理由を文脈から読み取り、根拠とともに説明している。 ・虎と狐はそれぞれどのような存在として描かれているかについて、本文と時代背景を絡めて推測している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狐が虎に話した内容を本文から読み取っている。 ・「獸見之、皆走。」となった理由を文脈から読み取っている。 ・虎と狐はそれぞれどのような存在として描かれているかについて、本文から読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狐が虎に話した内容を読み取っていない。 ・「獸見之、皆走。」となった理由を文脈から読み取っていない。 ・虎と狐はそれぞれどのような存在として描かれているかについて、本文から読み取っていない。
組む態度 学習に取り組む主体的に	⑦調査・レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・「借虎威」が示す寓意について調査をし、その上で自らの考えをレポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「借虎威」の寓意について調査をし、その内容をレポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「借虎威」の寓意について調査をしようとしていない。

■『寓話一三編』「朝三暮四」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (1) アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『列子』の編者や構成について理解し、その内容を説明している。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『列子』の編者や構成について理解している。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『列子』の編者や構成について理解していない。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (2) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、書き下し文を訓読文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、訓読文を書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④故事成語 (2) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語の意味を理解し、その故事成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語の意味を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・狙公と衆狙、それぞれの立場における言動を理解するとともに、その内容を説明している。 ・衆狙が「朝に三にして暮れに四にせん。」では怒り、「朝に四にして暮れに三にせん。」では喜んだ理由を読み取り、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狙公と衆狙、それぞれの立場における言動を理解している。 ・衆狙が「朝に三にして暮れに四にせん。」では怒り、「朝に四にして暮れに三にせん。」では喜んだ理由を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狙公と衆狙、それぞれの立場における言動を理解していない。 ・衆狙が「朝に三にして暮れに四にせん。」では怒り、「朝に四にして暮れに三にせん。」では喜んだ理由を読み取っていない。
学習に取り組む態度 主観的	⑦短文作成・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝三暮四」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。

		成するとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。		
--	--	--------------------------------------	--	--

■『寓話一三編』「塞翁馬」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (1) アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『淮南子』の編者や構成について理解し、その内容を説明している。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『淮南子』の編者や構成について理解している。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『淮南子』の編者や構成について理解していない。 ・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (2) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、書き下し文を訓読文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解し、訓読文を書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き字や助字、句法について理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④故事成語 (2) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語の意味を理解し、その故事成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語の意味を理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に即して、「塞翁」の身に起こった出来事を読み取るとともに、その内容を説明している。 ・「禍」「福」に対しての「塞翁」と周囲の人々との捉え方の違いを理解し、根拠とともに説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に即して、「塞翁」の身に起こった出来事を読み取っている。 ・「禍」「福」に対しての「塞翁」と周囲の人々との捉え方の違いを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に即して、「塞翁」の身に起こった出来事を読み取っていない。 ・「禍」「福」に対しての「塞翁」と周囲の人々との捉え方の違いを理解していない。
学習に取り組む態度 主観的	⑦短文作成・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「塞翁が馬」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。

		成するとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。		
--	--	--------------------------------------	--	--

■『絶句と律詩一八首』「鹿柴」「春曉」「春曉」ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	
知識・技能	①背景知識 （1）アウ	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解し、その内容を説明している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解していない。
	②漢字の意味 （1）ウエ	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 （2）ウ	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘し、根拠をもって説明している。 ・訓読のきまりを理解し、正確に訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘している。 ・訓読のきまりを理解し、訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解しておらず、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘していない。 ・訓読のきまりを理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。
	④日本文学への影響 （2）アイ	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解し、根拠をもって説明している。	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解している。	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読（1）ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳していない。
	⑥内容把握 読（1）アイエ	・漢詩にうたわれている状況を読み取り、その内容を説明している。 ・作者の心情を読み取り、根拠をもって説明している。	・漢詩にうたわれている状況を読み取っている。 ・作者の心情を読み取っている。	・漢詩にうたわれている状況を読み取っていない。 ・作者の心情を読み取っていない。
	⑦表現の理解 読（1）ウ	・読み取った漢詩の内容をもとに、状況や心情がより伝わるように工夫して暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱していない。
	⑧考え方の形成 読（1）オ	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明しようとしている。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

組む態度 学習に取り組む	主体的に ⑨比較・読み比べ	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べ、共通点や違いについてまとめ、根拠をもって説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べ、共通点や違いについてまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べたうえでの共通点や違いについてまとめようとしていない。

■『絶句と律詩一八首』『送元二使安西』『黄鶴楼送孟浩然之広陵』ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	
知識・技能	①背景知識 〔1〕アウ	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解し、その内容を説明している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解していない。
	②漢字の意味 〔1〕ウエ	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 〔2〕ウ	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘し、根拠をもって説明している。 ・訓読のきまりを理解し、正確に訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘している。 ・訓読のきまりを理解し、訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解しておらず、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘していない。 ・訓読のきまりを理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。
	④文化的・歴史的背景 〔2〕アイ	・漢詩に描かれている場所や送別の事情について理解し、その内容を説明している。	・漢詩に描かれている場所や送別の事情について理解している。	・漢詩に描かれている場所や送別の事情について理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 〔1〕ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 〔1〕アイエ	・漢詩にうたわれている状況を読み取り、その内容を説明している。 ・作者の心情を読み取り、根拠をもって説明している。	・漢詩にうたわれている状況を読み取っている。 ・作者の心情を読み取っている。	・漢詩にうたわれている状況を読み取っていない。 ・作者の心情を読み取っていない。
	⑦表現の理解 〔1〕ウ	・読み取った漢詩の内容をもとに、状況や心情がより伝わるように工夫して暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱していない。
	⑧考え方の形成 〔1〕オ	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

組む態度 学習に取り組む	⑨考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、暗唱などを通して優れた表現に親しむとともに、その内容を説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩に描かれた情景や心情を読み取らず、暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。

■『絶句と律詩一八首』『涼州詞』『春望』ルーブリック例

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する	
知識・技能	①背景知識 （1）アウ	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解し、その内容を説明している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解している。	・それぞれの漢詩が作られた時代や作者について理解していない。
	②漢字の意味 （1）ウエ	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 （2）ウ	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘し、根拠をもって説明している。 ・訓読のきまりを理解し、正確に訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解し、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘している。 ・訓読のきまりを理解し、訓読文を書き下し文に直している。	・漢詩の形式ときまりを理解しておらず、それぞれの漢詩の形式と押韻を指摘していない。 ・訓読のきまりを理解しておらず、訓読文を書き下し文に直していない。
	④日本文学への影響 （2）アイ	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解し、根拠をもって説明している。	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解している。	・中国の漢詩が日本のさまざまな文学作品に影響を与えたことを理解していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読（1）ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳していない。
	⑥内容把握 読（1）アイエ	・漢詩にうたわれている状況や心情を読み取り、根拠をもって説明している。	・漢詩にうたわれている状況や心情を読み取っている。	・漢詩にうたわれている状況や心情を読み取っていない。
	⑦表現の理解 読（1）ウ	・読み取った漢詩の内容をもとに、状況や心情がより伝わるように工夫して暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱している。	・読み取った漢詩の内容をもとに暗唱していない。
	⑧考え方の形成 読（1）オ	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明しようとしている。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・漢詩にうたわれた状況や心情から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
組む態度 学習に取り 主体的に	⑨比較・読み比べ	・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べ、共通点や違いについてまとめ、根拠をもって説明しようとしている。	・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べ、共通点や違いについてまとめようとしている。	・中国の漢詩と日本の文学作品を読み比べたうえでの共通点や違いについてまとめようとしていない。

■『絶句と律詩一八首』「香炉峰下、新ト山居草堂初成、偶題東壁」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『白氏長慶集』(『白氏文集』) とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『白氏長慶集』(『白氏文集』) とその作者について、知識を深めている。	・『白氏長慶集』(『白氏文集』) とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③背景知識 (2) アイ	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得している。	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得していない。
	④句法・書き下し文 (2) ウ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	⑤漢詩の形式ときまり (2) ウ	・漢詩の詩形・押韻・対句についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・漢詩の詩形・押韻・対句についての知識を獲得している。	・漢詩の詩形・押韻・対句についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑥現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑦内容把握 読 (1) アイエ	・詩にうたわれた状況を理解するとともに、その内容を説明している。 ・詩にうたわれた作者の心情を理解し、根拠とともに説明している。	・詩にうたわれた状況を理解している。 ・詩にうたわれた作者の心情を理解している。	・詩にうたわれた状況を理解していない。 ・詩にうたわれた作者の心情を理解していない。
	⑧表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・漢詩から対句を抜き出し、どのように対応しているか理解するとともに、その内容を説明している。	・漢詩から対句を抜き出し、どのように対応しているか理解している。	・漢詩から対句を抜き出しておらず、どのように対応しているか理解していない。

	⑨考え方の形成 読（1）才	・漢詩の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。	・漢詩の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・漢詩の内容から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑩考察・発表	・漢詩の形式ときまりを理解し、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとするとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・漢詩の形式ときまりを理解し、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	・漢詩の形式ときまりを理解しておらず、漢詩に描かれた情景や心情を読み取ったり、優れた表現に親しもうとしたりしていない。

■「雑説」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『昌黎先生集』とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『昌黎先生集』とその作者について、知識を深めている。	・『昌黎先生集』とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得している。	・唐という時代の特色や日本との関係についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・各段落の要点、論の展開を捉え、その内容を説明している。 ・「伯楽」「千里馬」の比喩の内容を読み取り、その比喩によって作者が主張しようとしたことを理解するとともに、根拠とともに説明している。	・各段落の要点、論の展開を捉えている。 ・「伯楽」「千里馬」の比喩の内容を読み取り、その比喩によって作者が主張しようとしたことを理解している。	・各段落の要点、論の展開を捉えていない。 ・「伯楽」「千里馬」の比喩の内容を読み取っておらず、その比喩によって作者が主張しようとしたことを理解していない。
	⑦表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・比喩表現がもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・比喩表現がもたらす効果について理解している。	・比喩表現がもたらす効果について理解していない。
主観的学習に取り組む態度	⑧考察・発表	・「伯楽」「千里馬」の比喩によって、作者が何を主張しようとしたのかについて文章にまとめている。	・「伯楽」「千里馬」の比喩によって、作者が何を主張しようとしたのかについて文章にまとめようとしている。	・「伯楽」「千里馬」の比喩によって、作者が何を主張しようとしたのかについて文章にまとめようとしていない。

		とともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。		
--	--	-----------------------------------	--	--

■「言語活動 訳詩を書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (1) ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」が詠まれた状況や作者について調べ、その内容を説明している。 ・自分の選んだ漢詩が詠まれた状況や作者について調べ、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」が詠まれた状況や作者について調べている。 ・自分の選んだ漢詩が詠まれた状況や作者について調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」が詠まれた状況や作者について調べていない。 ・自分の選んだ漢詩が詠まれた状況や作者について調べていない。
	②書き下し文 (2) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」を正確に訓読文から書き下し文に直している。 ・自分の選んだ漢詩を正確に訓読文から書き下し文に直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」を訓読文から書き下し文に直している。 ・自分の選んだ漢詩を訓読文から書き下し文に直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」を訓読文から書き下し文に直していない。 ・自分の選んだ漢詩を訓読文から書き下し文に直していない。
思考・判断・表現	③表現上の特色 書 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」の三つの訳詩を読み比べ、表現上の特色を読み取り、他者に説明している。 ・自分の選んだ漢詩の表現上の特色を読み取り、他者に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」の三つの訳詩を読み比べ、表現上の特色を読み取っている。 ・自分の選んだ漢詩の表現上の特色を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「春曉」の三つの訳詩の表現上の特色を読み取っていない。 ・自分の選んだ漢詩の表現上の特色を読み取っていない。
	④訳詩 書 (1) イ	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマや情景、作者の心情、句のつながりなどを意識しながら自分が選んだ漢詩の訳詩を作っている。 ・漢詩の訳詩を作成の意図とともにグループで発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ漢詩の訳詩を作っている。 ・漢詩の訳詩をグループで発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ漢詩の訳詩を作っていない。 ・漢詩の訳詩をグループで発表していない。
学習に取り組む態度	⑤調査・レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表の内容を自分の訳詩の改善に反映し、先人の訳詩との比較をレポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表の内容を自分の訳詩の改善に反映しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表の内容を自分の訳詩の改善に反映しようとしていない。

■『史記一三編』「晏子之御」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『史記』とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『史記』とその作者について、知識を深めている。	・『史記』とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・本文から情景や登場人物を読み取り、その内容を説明している。 ・晏子と御者の対比を把握し、御者の妻が離縁を求めた理由を読み取るとともに、その内容を説明している。 ・御者が「抑損」した理由を捉え、その内容を説明している。 ・晏子が御者を重臣に薦めた理由や晏子の心情を読み取り、根拠とともに説明している。	・本文から情景や登場人物を読み取っている。 ・晏子と御者の対比を把握し、御者の妻が離縁を求めた理由を読み取っている。 ・御者が「抑損」した理由を捉えている。 ・晏子が御者を重臣に薦めた理由や晏子の心情を読み取っている。	・本文から情景や登場人物を読み取っていない。 ・晏子と御者の対比を把握しておらず、御者の妻が離縁を求めた理由を読み取っていない。 ・御者が「抑損」した理由を捉えていない。 ・晏子が御者を重臣に薦めた理由や晏子の心情を読み取っていない。

	<p>⑦考え方の形成 読（1）才</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの行動や考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの行動や考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの行動や考え方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
学習に主体的に取り組む態度	<p>⑧考察・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの人間的魅力について文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの人間的魅力について文章にまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「晏子」、「御者」、「妻」それぞれの人間的魅力について文章にまとめようとしていない。

■『史記』「管鮑之交」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『十八史略』とその編者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『十八史略』とその編者について、知識を深めている。	・『十八史略』とその編者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・各段落の内容、論の展開を捉え、その内容を説明している。 ・管仲が「貪」「愚」「怯」とされなかつた理由を捉え、管仲と鮑叔の交友がどのようなものだったかを読み取るとともに、その内容を説明している。 ・管仲と桓公の信頼関係を捉え、根拠とともに説明している。	・各段落の内容、論の展開を捉えている。 ・管仲が「貪」「愚」「怯」とされなかつた理由を捉え、管仲と鮑叔の交友がどのようなものだったかを読み取っている。 ・管仲と桓公の信頼関係を捉えている。	・各段落の内容、論の展開を捉えていない。 ・管仲が「貪」「愚」「怯」とされなかつた理由を捉えておらず、管仲と鮑叔の交友がどのようなものだったかを読み取っていない。 ・管仲と桓公の信頼関係を捉えていない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・管仲と鮑叔の交友のあり方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・管仲と鮑叔の交友のあり方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・管仲と鮑叔の交友のあり方から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。

学習 に主体的 に取り組む態度	⑧短文作成・発表	<p>・「管鮑の交わり」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成するとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>・「管鮑の交わり」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしている。</p>	<p>・「管鮑の交わり」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し、短文を作成しようとしていない。</p>
-----------------------	----------	--	--	---

■『史話一三編』「臥薪嘗胆」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『十八史略』とその編者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『十八史略』とその編者について、知識を深めている。	・『十八史略』とその編者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得している。	・舞台となった時代や地域についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・各段落の内容、論の展開を捉え、その内容を説明している。 ・登場人物を吳側と越側に分け、吳・越の勝敗の理由をそれぞれ理解するとともに、根拠とともに説明している。	・各段落の内容、論の展開を捉えている。 ・登場人物を吳側と越側に分け、吳・越の勝敗の理由をそれぞれ理解している。	・各段落の内容、論の展開を捉えていない。 ・登場人物を吳側と越側に分けておらず、吳・越の勝敗の理由をそれぞれ理解していない。
	⑦考え方の形成 読 (1) オ	・登場人物の言動から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。	・登場人物の言動から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	・登場人物の言動から、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めていない。
組む態度 学習に取り組む 主体的に	⑧レポート・発表	・「臥薪嘗胆」という故事成語のいわれや意味についてレポートにまとめるとともに、発表や討	・「臥薪嘗胆」という故事成語のいわれや意味についてレポートにまとめようとしている。	・「臥薪嘗胆」という故事成語のいわれや意味についてレポートにまとめようとしていない。

		論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。		
--	--	--------------------------	--	--

■『論語一十章』【学問を語る】ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 （1）アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解し、その内容を説明している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解していない。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 （1）ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③成語 （2）イ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解し、その成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解していない。
表現・判断・	④現代語訳 読（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑤内容把握 読（1）アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について、本文から読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について、本文から読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について、本文から読み取っていない。
組む態度 学習に取り 主体的に	⑥考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について考え、それについて自分の考えを持ち、根拠をもって説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について考え、それについて自分の考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の学問観について考え、それについて自分の考えを持とうとしていない。

■『論語一十章』【人生を語る】ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 （1）アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解し、その内容を説明している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解していない。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 （1）ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③成語 （2）イ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解し、その成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解していない。
表現・判断・表現	④現代語訳 読（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑤内容把握 読（1）アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について、本文から読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について、本文から読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について、本文から読み取っていない。
組む態度 学習に取り組む主体的に	⑥考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について考え、それについて自分の考えを持ち、根拠をもって説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について考え、それについて自分の考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子や弟子の人生観について考え、それについて自分の考えを持とうとしていない。

■『論語一十章』【政治を語る】ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 （1）アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解し、その内容を説明している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解している。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成について理解していない。 ・『論語』が成立した時代背景や孔子についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 （1）ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③成語 （2）イ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解し、その成語を使用した短文を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』を出典とする成語の意味を理解していない。
表現・判断・	④現代語訳 読（1）ア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑤内容把握 読（1）アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について、本文から読み取り、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について、本文から読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について、本文から読み取っていない。
組む態度 学習に取り 主体的に	⑥考察・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について考え、それについて自分の考えを持ち、根拠をもって説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について考え、それについて自分の考えを持とうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の政治観について考え、それについて自分の考えを持とうとしていない。

■ 「『論語』の注釈を読む」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①背景知識 (1) アウ	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成、孔子について理解し、その内容を説明している。 ・『論語』の注釈書についての知識を獲得し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成、孔子について理解している。 ・『論語』の注釈書についての知識を獲得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』の内容や構成、孔子について理解していない。 ・『論語』の注釈書についての知識を獲得していない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③文化の受容 (2) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での『論語』の受容について理解し、その概要を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での『論語』の受容について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での『論語』の受容について理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読 (1) イエ	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の発言の内容を読み取り、二つの解釈があることを理解し、その違いについて説明している。 ・朱熹と伊藤仁斎の解釈の内容を読み取り、二つの解釈のどちらに当たるか理解し、根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の発言の内容を読み取り、二つの解釈があることを理解している。 ・朱熹と伊藤仁斎の解釈の内容を読み取り、二つの解釈のどちらに当たるか理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の発言の内容を読み取っておらず、二つの解釈があることを理解していない。 ・朱熹と伊藤仁斎の解釈の内容を読み取っておらず、二つの解釈のどちらに当たるか理解していない。
	⑤考え方の形成 読 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> ・朱熹と伊藤仁斎の説のどちらに賛同するかを考え、その理由について、根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朱熹と伊藤仁斎の説のどちらに賛同するかを考え、その理由をまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朱熹と伊藤仁斎の説のどちらに賛同するかを考え、その理由をまとめていない。
学習に取り組む態度	⑥比較・話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』のさまざまな解釈を読み比べたり、日本で一般的に考えられている「親孝行」と比較したりして、自分の考えを伝えるとともに、話し合いなどを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』のさまざまな解釈を読み比べたり、日本で一般的に考えられている「親孝行」と比較したりして、自分の考えを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『論語』のさまざまな解釈を読み比べたり、日本で一般的に考えられている「親孝行」と比較したりしたうえでの自分の考えを伝えようとしていない。

■ 「言語活動 『孔門の十哲』名鑑を作る」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
技能・知識	①背景知識 (2) イ	・「孔門の十哲」の概略を理解し、他者に説明している。	・「孔門の十哲」の概略を理解している。	・「孔門の十哲」の概略を理解していない。
思考・現 判 断 ・表	②材料の吟味・整 理 書 (1) ア	・『論語』や『史記』などで、顔回、子貢、子路、子夏についてさまざまな観点から多角的に調べている。 ・調べた内容を整理し、人物像がより伝わるようまとめてている。	・『論語』や『史記』などで、顔回、子貢、子路、子夏について調べている。 ・調べた内容を整理し、まとめている。	・『論語』や『史記』などで、顔回、子貢、子路、子夏について調べていない。 ・調べた内容を整理し、まとめていない。
組む態度 学習に取り 主体的に	③調査・レポート・ 比較	・「孔門の十哲」について調べた内容を整理してまとめ、制作物の比較を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・「孔門の十哲」について調べた内容を整理してまとめ、制作物を比較しようとしている。	・「孔門の十哲」について調べた内容を整理してまとめ、制作物を比較しようとしていない。

■『孟子』「不忍人之心」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①文学史 (1) ア	・『孟子』とその作者について、知識を深め、その内容を説明している。	・『孟子』とその作者について、知識を深めている。	・『孟子』とその作者について、知識を深めていない。
	②漢字の意味 (1) ウエ	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。	・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解していない。
	③句法・書き下し文 (1) ウエ	・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。	・訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解している。	・訓点に従って漢文を読んでおらず、書き下し文に直していない。 ・句法の意味・用法を理解していない。
	④背景知識 (2) イ	・『孟子』が記された戦国時代の時代背景や思想家についての知識を獲得し、その内容を説明している。	・『孟子』が記された戦国時代の時代背景や思想家についての知識を獲得している。	・『孟子』が記された戦国時代の時代背景や思想家についての知識を獲得していない。
思考・判断・表現	⑤現代語訳 読 (1) ア	・文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。	・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。
	⑥内容把握 読 (1) アイ	・各段落の要点、論の展開を捉え、孟子の説得術がどのようなものかを理解するとともに、その内容を説明している。 ・孟子が主張している、人間に本来備わっている四つの心のあり方を捉え、それぞれがどのような徳目の糸口かを読み取るとともに、根拠とともに説明している。	・各段落の要点、論の展開を捉え、孟子の説得術がどのようなものかを理解している。 ・孟子が主張している、人間に本来備わっている四つの心のあり方を捉え、それぞれがどのような徳目の糸口かを読み取っている。	・各段落の要点、論の展開を捉えておらず、孟子の説得術がどのようなものかを理解していない。 ・孟子が主張している、人間に本来備わっている四つの心のあり方を捉えておらず、それぞれがどのような徳目の糸口かを読み取っていない。
	⑦表現の特徴の理解 読 (1) ウ	・本文中の比喩表現がもたらす効果について理解し、その内容を説明している。	・本文中の比喩表現がもたらす効果について理解している。	・本文中の比喩表現がもたらす効果について理解していない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「由是觀之」という表現が文中で果たす役割を理解し、その内容を説明している。 ・三段落目の表現上の特徴について理解し、その内容を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「由是觀之」という表現が文中で果たす役割を理解している。 ・三段落目の表現上の特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「由是觀之」という表現が文中で果たす役割を理解していない。 ・三段落目の表現上の特徴について理解していない。
組む 学習に 主体的取り 度	⑧レポート・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・孟子の論理展開の仕方や思想についてレポートにまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孟子の論理展開の仕方や思想についてレポートにまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孟子の論理展開の仕方や思想についてレポートにまとめようとしていない。